

新庄地域保健福祉計画

みんなが住みやすく 健康で気楽に暮らせる
安全・安心な 新庄



つながりやきずなのあるまちを
めざして策定しました。



目 次

1. はじめに	P. 1
2. 新庄地域の概況	P. 2
① 地域の特徴	
② 地域の世帯数・人口・高齢化率	
3. 地域で取り組んでいる活動（一部）	P. 3
4. 新庄地域保健福祉計画ができるまでの経過	P. 4～5
5. 新庄地域の将来像	P. 6
6. テーマごとの目標	P. 7～11
テーマ① 「健康や見守りに関すること」	
テーマ② 「コミュニティやつながりに関すること」	
テーマ③ 「子育てや教育に関すること」	
テーマ④ 「住環境などに関すること」	
テーマ⑤ 「安全・安心に関すること」	
7. 参加者の声（ワークショップ参加者の感想）	P. 12
8. おわりに	P. 13



はじめに

私たちの日常生活は、その地域の環境問題や、防犯・防災そして健康・医療・介護・教育・子育て等様々な問題と関わっています。また上新庄駅に近い利便性と対比するように放置自転車や街頭犯罪問題というマイナス要因もあります。このようにそれぞれの課題について新庄のまちだからという利点と、逆の問題点が混在しています。

新庄地域三団体（地域活動協議会・連合振興町会・地域社会福祉協議会）では、地域課題はそこに住む地域住民が日常的に肌で感じているのだという「ニア・イズ・ベター」の考え方で、これからの地域活動を進めようと、住民の皆様が日常生活や災害時などで、どんな不安やご意見を持っておられるかをお聞かせいただくために、平成 30 年 4 月に新庄地域のほぼ全世帯に保健や福祉などに関するアンケート調査を行いました。572 件の回答をいただきましたが、特に「健康や見守りに関すること」「コミュニティやつながりに関すること」「子育てや教育に関すること」「住環境などに関すること」「安全・安心に関すること」の大きく 5 つの分野での関心が高くなっていました。

本冊子は、これらの 5 つのテーマについて新庄地域での具体的な課題、取り組みを平成 30 年度から現在まで、約 50 名の地域住民によるワークショップでの多くの意見の「まとめ」と、その後の策定会議で要点整理を行い、新庄地域保健福祉計画としてまとめたものであります。

今後、私たちがめざす「みんなが住みやすく 健康で気楽に暮らせる 安全・安心な 新庄」へのまちづくりの活動指針として、皆様方とともに地域活動を進めてまいりたいと思います。

どうかご支援・ご協力を賜りますようお願いします。



新庄地域社会福祉協議会 会長 倉田 秀太郎

新庄地域活動協議会
新庄連合振興町会
新庄地域社会福祉協議会
(文責 倉田 秀太郎)

新庄地域の概況

① 地域の特徴

新庄地域（新庄小学校下）は、かつては農村地帯でしたが、大正14年大阪市へ編入、昭和3年新京阪鉄道（現阪急電鉄）の開通により、住宅地として変貌していきました。その後、戦後の復興期を経て都心への利便性から、上新庄駅を中心に住宅や商業施設が多くなり景色は一変しました。平成初期には区内6駅中最多の乗降客が利用し、駅周辺の放置自転車・環境問題が取り上げられ、行政・阪急・地域団体が協働して課題解決に努力しています。

現在の地域活動は、町会をはじめ民生委員、PTA、老人会、子ども会等各種団体がそれぞれの分野での活動を行っていますが、その活動を新庄地域としてまとめているのが地域活動協議会、連合振興町会、地域社会福祉協議会です。この3つの組織がガッチリとスクラムを組んで新庄地域を「みんなが住みやすく 健康で気楽に暮らせる 安全・安心な 新庄」をめざして活動を進めようとしているのが、この新庄地域保健福祉計画がめざす未来の新庄のまちづくりです。

また、新庄地域には先輩が残された素晴らしい活動があります。小地域福祉計画、要支援者支援を目的とした各町会のミニネットワーク委員会（※）活動や、駅周辺の美化活動を行っている「まち美化パートナー」活動などです。これらの活動の進化をめざして、他都市の実情調査を実施し、組織強化、災害時避難行動の体制づくりをすすめています。

（※）…新庄地域独自の取り組みで、平成7年に発足した各町会ごとのネットワーク組織。

② 地域の世帯数・人口・高齢化率（平成27年・22年国勢調査より）

	世帯数（世帯）	人口（人）	高齢化率
平成27年	6,890	9,543	21.0%
平成22年	5,292	9,533	18.1%
平成27年 （区全体）	92,536	175,530	23.4%

